

コンクリート主任技士4択演習問題の正解と解説

正解(4)が不適當。

プラスチック収縮ひび割れを防止するためには、水分の蒸発を防ぐことが基本である。打込み区画の周囲をシートで囲み、打込み終了後はコンクリート表面を被覆し、夏季における日光の直射や風にさらされることを防ぎ、必要に応じて適宜散水するなど養生に十分な配慮が大切である。

硬化前のひび割れには、沈下ひび割れとプラスチック収縮ひび割れがある。これらの発生原因、ひび割れパターンは異なるが、その補修方法は同様(タンピング等)である。

コンクリート技士4択演習問題の正解と解説

正解(4)が不適當。

暑中に打ち込まれたコンクリートの表面は、直射日光や風にさらされると急激に乾燥してひび割れが発生しやすい。このため、打込みを終了したコンクリートは、露出面が乾燥しないよう養生しなければならない。

コンクリート示方書では、打込み後少なくとも24時間は露出面を乾燥させることがないように湿潤状態を保ち、また、養生は少なくとも5日間以上行うことが望ましいとしている。